

令和8年度 第1回浜松市立高等学校の在り方検討委員会

日時：令和8年7月13日（月）14時～
会場：教育委員会 6F 教育委員会室

1 開 会

2 教育長挨拶

3 委員紹介・副委員長選出

4 浜松市立高等学校の在り方委員会の協議予定

5 説 明

浜松市立高等学校の現状

6 協 議

（1）浜松市立高等学校の存在意義について

（2）これからの浜松市立高等学校が目指す姿について

7 閉 会

【配付資料】

資料1 浜松市立高等学校の在り方検討委員会設置要綱

資料2 令和8年度浜松市立高等学校の在り方検討委員会の協議予定

資料3 浜松市立高等学校の現状

追加資料 浜松市立高校の在り方検討委員会の進め方

第1回浜松市立高等学校の在り方検討委員会 出席者

〈委員〉

	氏 名	所 属 ・ 職 名
教育委員会	野秋 愛美	浜松市教育委員会教育長
学識経験者	加藤 俊志	横浜国立大学教職大学院教授
	亀井 暁子	静岡文化芸術大学デザイン学部教授
経済団体関係者	鶴見 英人	遠州鉄道株式会社人事部長
中学校関係者	守屋 謙一郎	浜松市高台中学校長
学校関係者	宮崎 正	浜松市立高等学校校長
学校関係者	須賀 淳子	浜松市立高等学校同窓会顧問（前会長）

〈オブザーバー〉

所属・部名	課名	職名または補職名	氏 名
企画調整部	企画課	教育・若者連携推進担当課長	大津 裕美
産業部	労働政策課	課長	鈴木 利昭
浜松商工会議所 会員支援部	-	部長	鈴木 純一
	人材支援課	課長	深津 正樹

〈関係課〉

部 名	課 名	職名または補職名	氏 名
学校教育部	-	部長	吉積 慶太
	教育総務課	次長 兼 課長	鈴木 健一郎
		教育 DX 推進担当課長	河島 正志
	学校・地域連携課長	課長補佐	鈴木 亨
	教育施設課	課長	松野 英男
	教職員課	次長 兼 課長	花井 清孝
		採用管理担当課長	飯島 美智子
	教育センター	所長	水野 希樹
	指導課	課長	鈴木 健
	教育支援課	課長	今明 薫
	健康安全課	参事 兼 課長	小松 弓美

〈事務局〉

部名	課名	グループ名	職名または補職名	氏 名
学校教育部	教育総務課	一	課長補佐	伊藤 稚佳子
		企 画	副主幹	松島 広明
			主 幹	井島 健蔵
			指導主事	池谷 則秀
			指導主事	小杉 弘
			一般職員	峰山 翼
			一般職員	松尾 夏実
			事務長	夏目 健一
	浜松市立高等学校			

浜松市立高等学校の在り方検討委員会設置要綱

（目的及び設置）

第1条 浜松市立高等学校の在り方に関する事項について、専門的知見から意見を徴取するため、浜松市立高等学校の在り方検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

（所掌事項）

第2条 委員会は、次に掲げる事項について協議し、又は意見を述べるものとする。

- （1）浜松市立高等学校の在り方検討に関すること。
- （2）その他、浜松市立高等学校の在り方検討に関し、教育長が必要と認める事項。

（委員）

第3条 委員会は、次に掲げる者を委員として組織する。

- （1）学識経験を有する者
- （2）関係団体の代表者
- （3）市立中学校の代表者
- （4）その他教育長が必要と認める者

（任期）

第4条 委員の任期は、任命又は委嘱した日から、当該年度の3月31日までとする。

（委員長及び副委員長）

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置く。

- 2 委員長は教育長、副委員長は教育長が指名する者をもって充てる。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときにはその職務を代理する。

（会議）

第6条 会議は、委員長が招集し、議長となる。

- 2 会議は、委員の過半数以上の出席がなければ会議を開くことができない。
- 3 委員長は、必要があると認めるときは、委員以外の者を会議に出席させ、その意見を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

（守秘義務）

第 7 条 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、同様とする。

（事務局）

第 8 条 委員会の事務局は、学校教育部教育総務課に置く。

2 事務局は、委員会への報告、協議事項等について準備、調整を行う。

（その他）

第 9 条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、令和 8 年 5 月 1 日から施行する。

令和 8 年度浜松市立高等学校の在り方検討委員会の協議予定

第 1 回（7 月 13 日 14：00～16：00）

（1）説明

浜松市立高等学校の現状

（2）協議

- ① 浜松市立高等学校の存在意義について
- ② これからの浜松市立高等学校が目指す姿について

第 2 回（10 月 13 日 10：00～12：00 予定）

新しい市立高等学校の魅力の検討

- ① 市立高等学校に求める新たな特色
- ② 授業以外（探究活動・部活動ほか）の学校生活などの特色

第 3 回（1 月 19 日 14：00～16：00 予定）

新しい市立高等学校に必要な環境・設備について

※第 3 回の委員会終了後、まとめ（案）を提示する（年度内）。

浜松市立高等学校の現状

1 在り方検討に至った経緯

(1) 少子化の急激な進行

- ・ 近年、全国的な少子化が急激な速さで進行している。本市においても、現在の状況が継続すると、2040 年に高校に入学する 15 歳人口は現在の 70%以下になると推測される。

【参考】西遠地区の出生数の現状

(1) 浜松市、湖西市の出生数の実績と今後の推計

- ・ 令和 5 年将来推計人口による西遠地区の出生児数見込は、令和 23～27 年に年平均 4,910 人となっており、平成 28 年～令和 2 年の年平均値(実績)の 73.8%となる。
- ・ 平成 28 年～令和 2 年の年平均値を実績と見込で比較すると、実績が見込を 290 人下回っており、今後も出生数の実績は見込みを下回る可能性がある。

区分	実績		見込					
	H23～27 年	H28～R2 年	H28～R2 年	R3～7 年	R8～12 年	R13～17 年	R18～22 年	R23～27 年
浜 松 市	7,147	6,263	6,478	5,242	5,112	5,088	4,941	4,661
湖 西 市	499	392	467	321	303	293	277	249
合 計	7,646	6,655	6,945	5,563	5,415	5,381	5,218	4,910

実績：

「市区町村別推計人口動態表」県経営管理部統計調査課

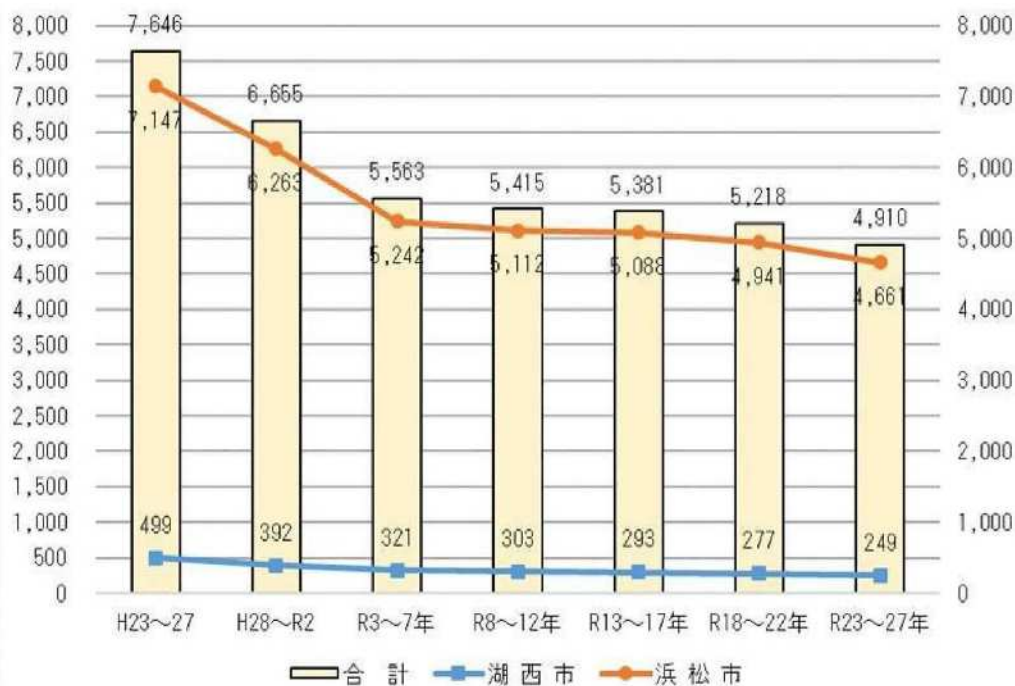
(注) 期間前年 10 月 1 日から当該年 9 月 30 日までの出生児数/5 年により平均人数を計上

見込：

H28～R2：国立社会保障・人口問題研究所（平成 30 年）の推計結果

R3～7 年以降：同上（令和 5 年）の推計結果

(注) 「5 年ごとの 0～4 歳の人数」/5 年により平均人数を算出



出典：静岡県教育委員会『県立高等学校の在り方に係る地域協議会（西遠地区）参考資料』

（２）私立高等学校の授業料実質無償化と特色化の動き

- ・ 令和８年度より「高等学校就学支援金」の所得制限が廃止され、私立高等学校の授業料が実質無償になったことで、受検者の志望校選択の幅が拡大。受検倍率にもその影響がみられる。
- ・ 私立高等学校は、これまでも生徒獲得のための独自のカリキュラムの設定や施設の充実など差別化・特色化が進められてきた。
- ・ 近年では、「高大連携」や「グローバル・イマージョン教育」、「探求・アントレプレナーシップ」、「最先端 DX・ICT 環境」などの事例がみられる。

【参考】浜松市立高等学校と近隣校の受検倍率の推移

学校名	令和5年度			令和6年度			令和7年度			令和8年度		
	募集定員	受検者数	倍率	募集定員	受検者数	倍率	募集定員	受検者数	倍率	募集定員	受検者数	倍率
1 天 竜	180	158	0.88	180	134	0.74	140	139	0.99	140	115	0.82
2 浜 松 北	360	491	1.36	360	476	1.32	360	441	1.23	360	451	1.25
3 浜 松 西	86	114	1.33	85	97	1.14	82	91	1.11	105	118	1.12
4 浜 松 南	360	410	1.14	360	479	1.33	320	395	1.23	320	444	1.39
5 浜松湖東	280	283	1.01	280	274	0.98	240	242	1.01	240	227	0.95
6 浜松湖南	320	365	1.14	320	319	1.00	320	358	1.12	320	298	0.93
7 浜松江之島	200	195	0.98	160	163	1.02	160	162	1.01	160	159	0.99
8 浜 松 東	320	294	0.92	280	300	1.07	280	240	0.86	240	235	0.98
9 浜松大平台	160	179	1.12	160	176	1.10	160	174	1.09	160	151	0.94
10 浜 松 工	360	356	0.99	320	379	1.18	360	429	1.19	360	348	0.97
11 浜松城北工	280	249	0.89	240	242	1.01	240	262	1.09	240	217	0.90
12 浜 松 商	320	360	1.13	320	360	1.13	320	340	1.06	320	345	1.08
13 浜 名	360	355	0.99	360	352	0.98	320	347	1.08	320	308	0.96
14 浜 北 西	280	277	0.99	280	292	1.04	240	246	1.03	240	236	0.98
15 浜松湖北	320	308	0.96	280	300	1.07	280	278	0.99	280	235	0.84
16 新 居	160	164	1.03	160	167	1.04	160	183	1.14	160	153	0.96
17 湖 西	160	155	0.97	120	124	1.03	120	115	0.96	120	89	0.74
18 浜松市立	360	488	1.36	360	477	1.33	360	465	1.29	360	417	1.16
合計	4,866	5,201	1.07	4,625	5,111	1.11	4,462	4,907	1.10	4,445	4,546	1.02

出典：静岡県教育委員会「静岡県公立高等学校入学者選抜合格者数一覧」の各年度の数値をもとに加工
※募集定員及び受験者数は、各高校の全学科の人数の合算としている。

定 員：全学科の募集定員を合計した数値

受験者数：全学科の受験者数を合計した数値

倍 率：全学科の受験者数の合計を全学科の募集定員の合計で除した数値

※浜松北、浜松大平台、浜名、新居の４高校については、定時制の生徒を含まない。

※**太字**：受験者倍率 1.20 以上、 ：受験者倍率 1.00 未満

【参考】浜松市内の私立高等学校での特色化例

学校名	特色
聖隷クリストファー 高等学校	・ アントレプレナーシップクラス（普通科）の設置 ・ 聖隷クリストファー大学との連携 ・ 英語イマージュプログラム（英数科、特進クラス）
浜松学芸高等学校	・ 「探究創造科（地域創造・科学情報）」設置 ・ 普通科の特進演習「GATE」（探究活動）
浜松聖星高等学校	・ 学力向上プロジェクト（土曜日講座、平日課外） ・ グローバルスタディーズプログラム、留学制度（3 か月～1 年） ・ DX ハイスクール指定校（2024 年～）、STEAM 教育の充実

出典：各校のパフレット及び Web サイトの情報をもとに作成

(3) 国・県・他都市の動向

①国の動向

- ・ 高等学校を取り巻く様々な課題や対応について、中央教育審議会・初等中等教育分科会「高等学校教育の在り方ワーキンググループ」等において審議
- ・ 令和3年3月 学校教育法施行規則等の一部改正
- ・ 高等学校の魅力化・特色化/高等学校通信教育の質の保証/多様な学習ニーズへの対応
- ・ 令和8年2月 高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040年に向けた「N-E. X. T ハイスクール構想」～

②静岡県の動向

- ・ 令和4年度～ 県立高等学校の在り方に係る地域協議会 開始
- ・ 令和5年4月 静岡県立高等学校の在り方に関する基本方針を策定
- ・ 令和6年3月 静岡県立高等学校在り方に関する基本計画を策定
- ・ 令和6年11月 県立高等学校の在り方に係る地域協議会（西遠地区）開始
- ・ 令和8年3月 静岡県西遠地区＜公立高校＞のグランドデザインを策定
- ・ 令和8年6月 高等学校教育改革実行計画策定委員会を設置

③県内他都市の動向

- ・ 市立高等学校を設置している4市（浜松市、静岡市、富士市、沼津市）で在り方や理念の見直しを図る動き
【静岡市】令和7年度に「静岡市の高等学校の在り方検討委員会」を設置・検討
→ 静岡市立高校と清水桜が丘高校を統合し、新たな中等教育学校へ

(4) 浜松市立高等学校の施設の状況

- ・ 学校の改築から30年以上（1994年完成）が経過し、校舎や設備機器等の経年劣化が顕著となっている。
- ・ 令和3年度に劣化調査を実施しているが、調査実施後に結果を反映した修繕計画が策定されていないため、事後的に対処療法的な修繕にとどまっている。
- ・ 令和6年度の包括外部監査において、長期的な修繕計画を早急に策定し、予防保全的な対応へと転換を図る必要があるとの指摘を受けている。
- ・ ICT環境の充実やトイレの洋式化、空調整備など、新しい時代の学びや社会情勢・教育課題に応じた機能・魅力向上を図る施設改修も必要となっている。

【参考】高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040 年に向けた「N-E. X. T ハイスクール構想」～

高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）【概要】
～2040年に向けた「N-E.X.T.（ネクスト）ハイスクール構想」～
New Education, New Excellence, New Transformation of High School

1. グランドデザインの背景・必要性

- ✓ AIの実装などデジタル技術の目まぐるしい発展
2040年には、少子高齢化、生産年齢人口の減少、地方の過疎化が一層深刻化
→現在の人材供給トレンドが続けば、労働力需給ギャップが発生
(事務職は余剰、AI・ロボット関係、いわゆる理系人材は不足)
- ✓ 将来を正確に予測することは難しく、どのような未来が訪れるか分からない
→生徒それぞれの多様な個性やニーズ、興味・関心に応じた学びを生かした自己実現を支え、生徒の可能性を広げ能力を伸ばす
→全ての高校生が家庭の経済状況等に左右されることなく、希望する大学等への進学や就職等をし、それが個人の幸福につながり、ひいては、我が国の経済・社会の基盤を強いものとしていくことにつながる



2. 高校改革の方向性～2040年に向けた高校の姿～

視点1 不確実な時代を自立して生きていく 主権者として、AIに代替されない能力や個性の伸長	視点2 我が国や地域の経済・社会の発展を支える人材育成	視点3 一人一人の多様な学習ニーズに対応した教育機会・アクセスの確保
学びの在り方の転換 (New Transformation) ✓ リアルとデジタルの良さを組み合わせつつ、「好き」を育み、「得意」を伸ばす機会を確保し、生徒の実態を踏まえた柔軟な教育課程の実現 ✓ スクール・ミッション、スクール・ポリシーを踏まえた教育活動の改善、公表 ✓ 高校教育と一貫した大学教育改革（主体的・自律的な学修のための環境構築、出口における質保証等）	最先端を学ぶ高校の特色化・魅力化 (New Excellence) ✓ 探究・文理横断・実践的な学び、STEAM教育、産業界と協働した専門高校の学びの充実 → 理数・文系の素養やAIを使いこなす力を身に付け、社会で活躍するロールモデルを体感 ✓ 各高校の特色化・魅力化 → 学科構成の見直し、専門高校の機能強化・高度化、グローバル人材の育成 → 「普通科」の在り方の転換、即戦力の人材と進学を見据えた高度専門職人材の育成	学ぶ機会・アクセスの確保 (New Education) ✓ 全国どこにいても多様な質の高い学びを保障し、地方の生徒はもとより誰一人取り残されず、全ての生徒の可能性を最大限引き出す (地理的アクセスの確保、都道府県の実情等に応じた学校配置・規模の適正化、小規模校を含む遠隔授業等の推進) ✓ 通信制高校の教育の質の確保・向上 ✓ 不登校生徒への学習支援、特別支援教育や日本語指導が必要な生徒への教育の充実

3つの視点を重視しながら、更なる高校改革を進め、N-E.X.T.ハイスクール構想を実現する。
高校から大学・大学院に至るまでの一貫した改革により、強い経済や地域社会の基盤となる人材を育成する。

3. N-E.X.T.ハイスクール構想の中核となる高校支援



※交付金等の構築に先立ち、高校教育改革のための基金を都道府県に造成し、N-E.X.T.ハイスクール構想の実現のために、パイロットケースとして先進的な学びの在り方を構築する高校（改革先導拠点）を創設。

新しい学校のイメージや取組例

専門高校の機能強化・高度化 (アドバンス・エッセンシャルワーカーの育成等)	普通科改革を通じた高校の特色化・魅力化 (文理の双方の素養を有する人材の育成等)	地理的アクセス・多様な学びの確保
（学校のイメージ） 地域発のイノベーションを興すことのできる人材等の育成を目指し、理論と実践の往還によるカリキュラムの実施等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校 （取組例） ✓ ビジネス経験の必修化 ✓ ものづくりから流通まで一体的な学びの実践 ✓ 「高校版企業寄附講座」等の実践やそれを前提とした進学・就職機会の確保	（学校のイメージ） 文理にとらわれない幅広い教養等を備えた新しい価値を創造する人材等の育成を目指し、実社会につながる生きた授業の実践等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校 （取組例） ✓ 実社会につながる生きた授業の実践 ✓ 高度実験環境を核とする理数探究拠点整備 ✓ 探究型授業研修の充実による教師のスキル向上、探究伴走支援専門チームの構築	（学校のイメージ） 学校の枠を超えて多様な人々と協働し、社会の課題を主体的に探究・解決できる人材等の育成を目指し、柔軟で質の高い学びの実践等に取り組み、必要な施設設備の高度化が図られた学校 （取組例） ✓ 学校間連携や遠隔授業等を活用した教育機会の確保 ✓ 学校と地域の関係機関の連携・協働の強化による学習環境の提供 ✓ 他の学校種との連携の充実

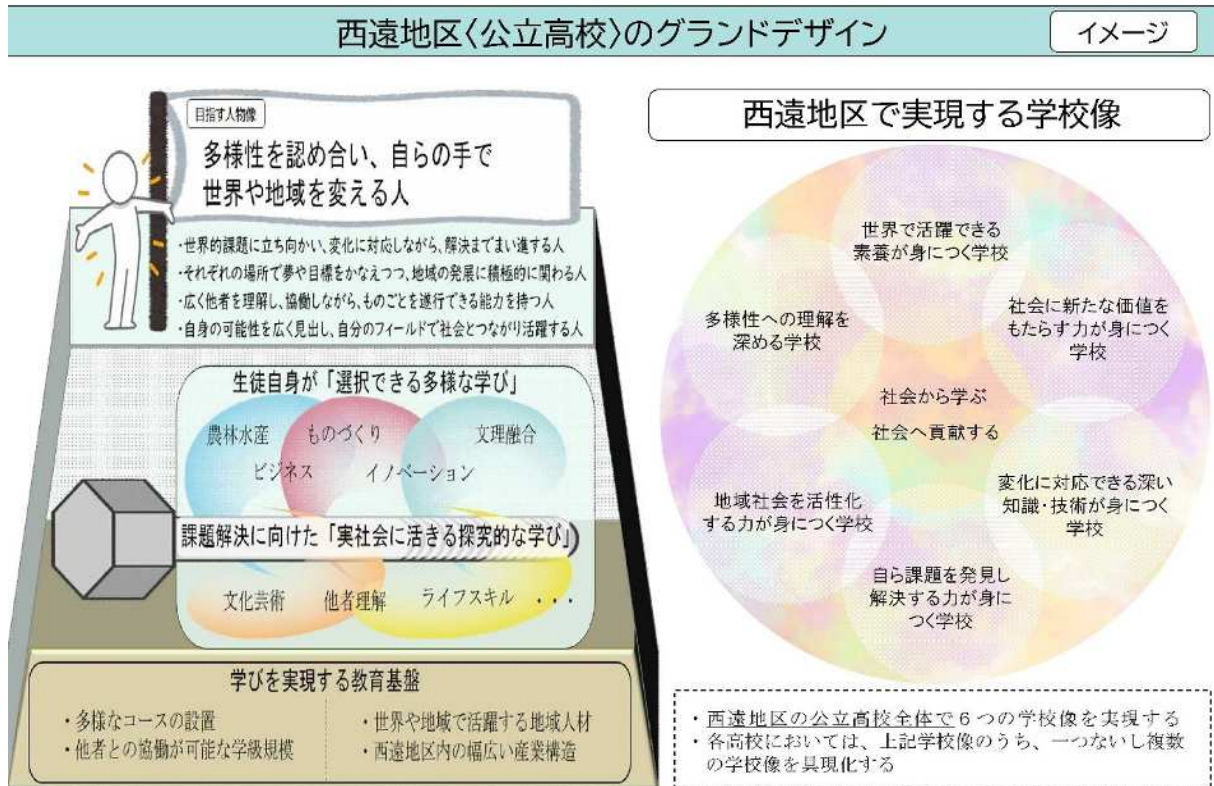
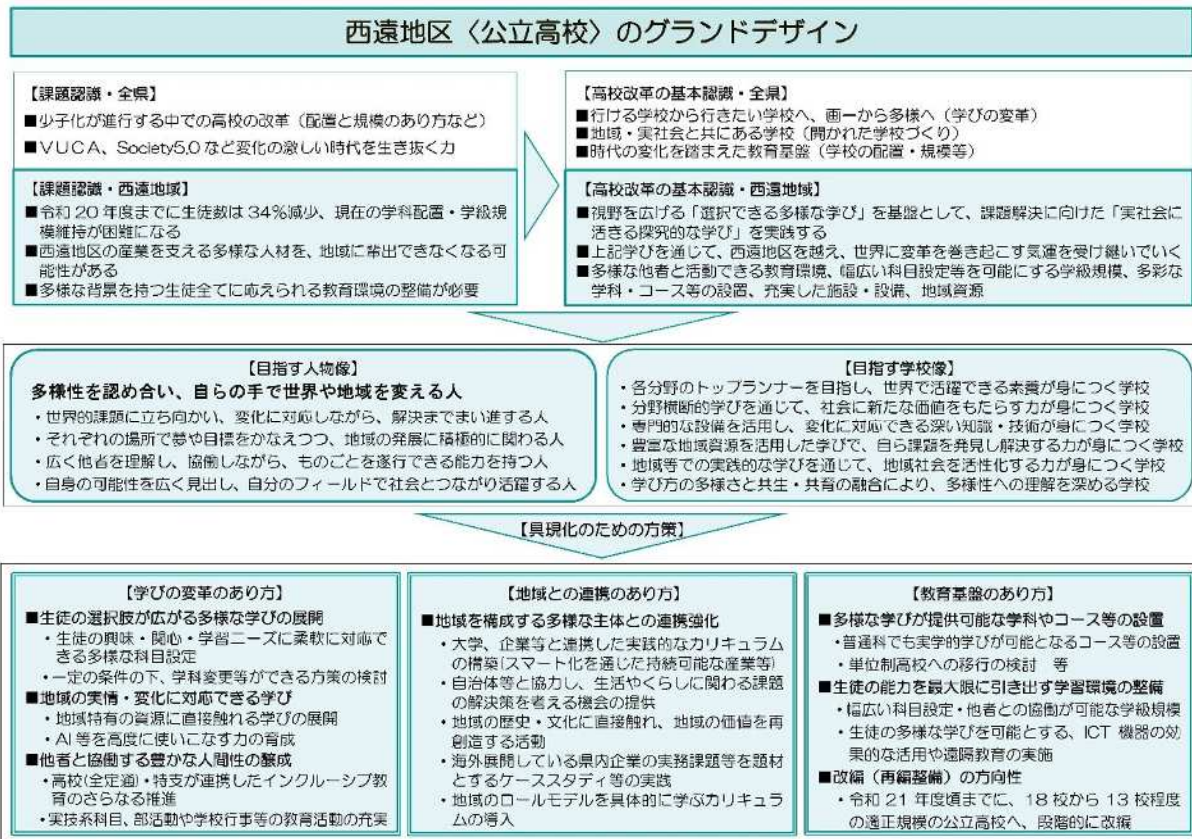
これらの取組の一環として、留学支援を含むグローバル人材育成支援や、学校と地域が連携・協働した学力向上・学習支援などについて取り組む。

2040年までに達成を目指す目標

【職業教育の高度化・魅力の強化関係】	【普通科の在り方の転換・魅力の強化関係】	【多様な学びの確保関係】
・地域の産業界等と連携・協働した取組を行う専門高校：100% ・少子化傾向においても専門高校の生徒数を現在と同水準	・文理横断的な学びに取り組む普通科高校：100% ・普通科でいわゆる文系と理系の生徒の割合：同程度	・学びの状況に関する生徒の肯定的な評価の向上 ・高校卒業段階の進路未決定者の割合の半減

出典：文部科学省

【参考】静岡県西遠地区〈公立高校〉のグランドデザイン



多様な学びの実現に向け、令和21年度頃までに、現在の18校から13校程度の適正規模の公立高校へ、段階的に改編

出典：静岡県教育委員会

2 浜松市立高等学校の現状

(1) 基本情報

① 沿革

ア 創設と改称

- ・ 明治 34 (1901) 年 静岡県浜松高等女学校として創設
同年 浜松町立浜松高等女学校と改称
- ・ 明治 44 (1911) 年 浜松市立高等女学校と改称
- ・ 昭和 23 (1948) 年 浜松市立高等学校と改称

イ 共学化

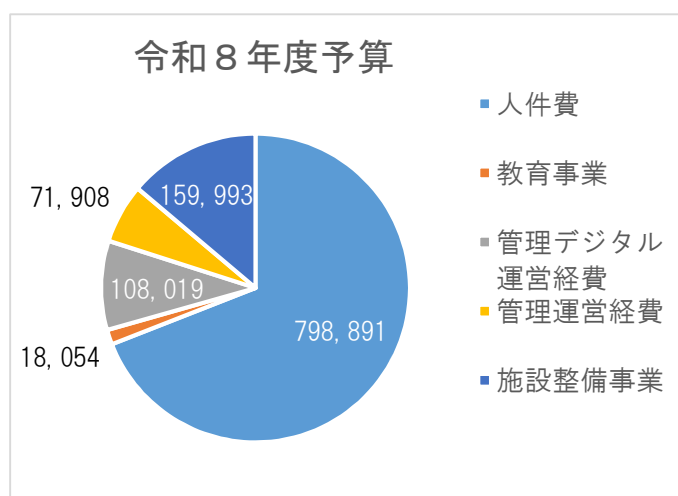
- ・ 平成 17 (2005) 年 共学化 (1 学年 10 クラス : 400 人定員)
- ・ 令和 3 (2021) 年 この年の入学生より 1 学年 9 クラス (360 人定員) へ

② 設置学科と現状

ア 設置学科 : 普通科 1 学年 9 クラス : 360 人定員

イ 在籍生徒数 : 1,109 人 (男子 444 人、女子 665 人) ※令和 8 年 4 月 1 日現在

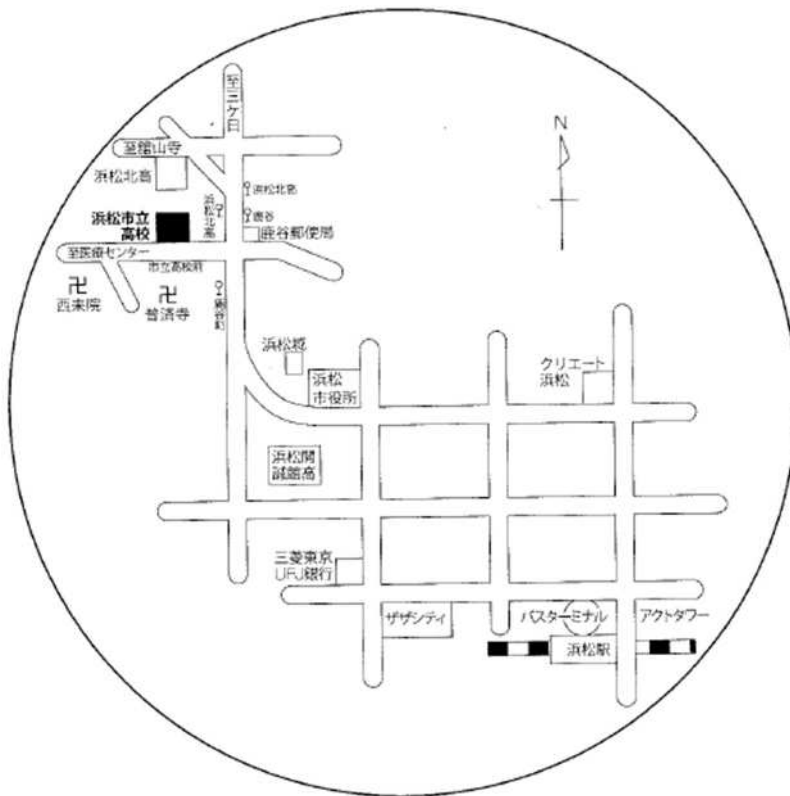
③ 財務状況 (令和 8 年度予算の内訳)

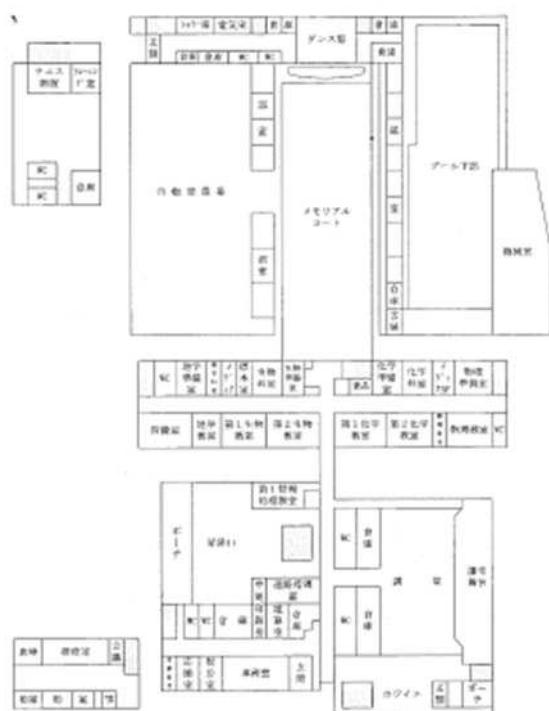


(単位 : 千円)

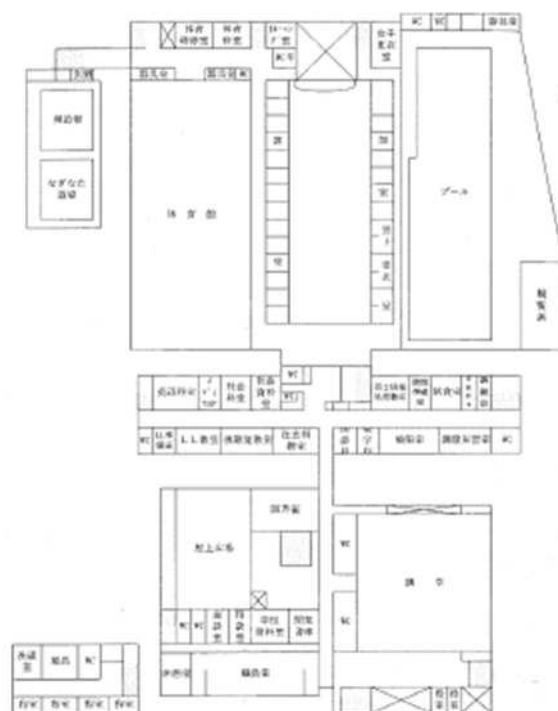
費 目	予 算 額
人 件 費	798,891
教 育 事 業	18,054
管理デジタル運営経費	108,019
管 理 運 営 経 費	71,908
施 設 整 備 事 業	159,993
計	1,156,865

【参考資料】浜松市立高等学校の位置と近景写真、校舎配置図

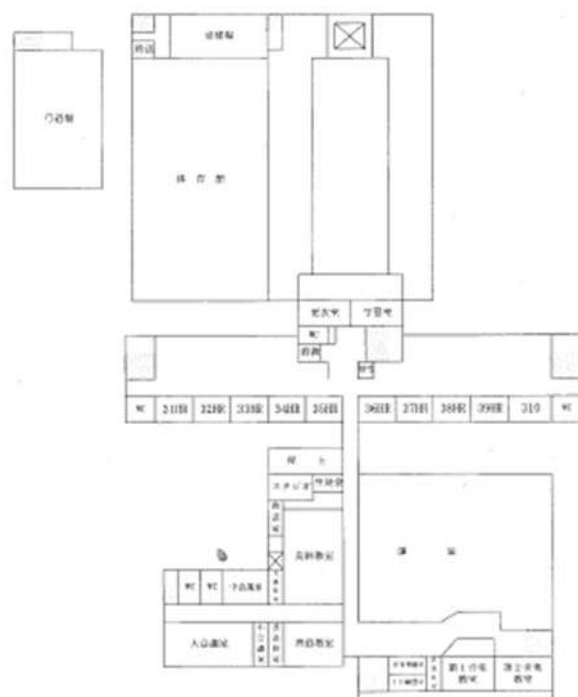




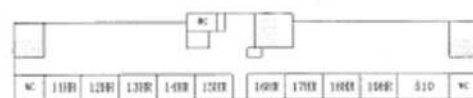
1階



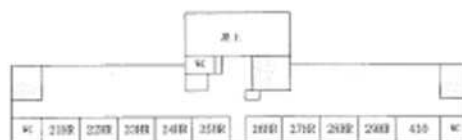
2階



3階

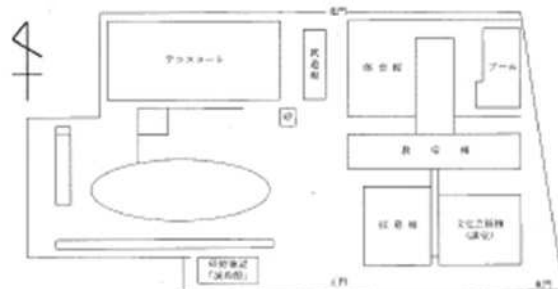


5階



4階

学校配置図



(2) 教育活動の現状と特色

① グランドデザインとスクールミッション・スクールポリシー

- ・ 浜松市立高校では、校訓「誠・愛・節」の下、長きにわたって「人間性」の向上を目指した「文武両道」の教育を実施
- ・ 共学化をした平成 17 (2005) 年頃より、「規律ある進学校」として「人間性」と「学業」においてバランスの取れた教育を実践している。進学実績も共学化を機に約半数が国公立大学に合格入学するなど、実績をあげている。
- ・ また毎年夏には 80 人程度を定員に「名古屋大学見学会」を実施している。

【参考】令和 8 年度グランドデザイン



校 訓 誠 ・ 愛 ・ 節

- 誠 つねに真実をもとめ、至誠をもって事にあたる
愛 人に接するに敬愛の念をもってし、良く親和する
節 自己の本分と責任を自覚し、進退において、節度を保つ

1 スクール・ミッション

政令指定都市浜松唯一の市立高校として、文武両道の教育方針のもと「学業」と「人間性」の両面においてバランスのとれた教育を実践する「規律ある進学校」を目指し、グローバルな視野をもつリーダーとして広く社会の発展に貢献できる人間を育成する。

2 目指す学校像

(1) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
①文武両道の教育方針のもと、知・徳・体のバランスのとれた人間を育成する。 ②基礎的学力を十分に備え、自ら考え、判断し、行動できる人間を育成する。 ③グローバル・グローカルリーダーとして、世界的な視野をもちながら、地域の特色やニーズに合わせて行動できる人間を育成する。	①ICTの効果的な活用や主体的・対話的で深い学びの授業を通して、他者と協働して学び、思考し、判断し、表現する力と確かな学力を身に付ける。 ②総合的な探究の時間「浜市総合講座」を通して、地域社会との関わりから自ら課題を設定し、その解決能力を高め、自己の未来を切り拓く力を身に付ける。 ③生徒主体の生徒会活動や学校行事を通して、他者と協議しながら、自ら参画し、判断し、実現する、主体的に取り組む力を身に付ける。	①高い学習意欲を持って己を高め、自ら課題を見つけて、仲間と共に解決しようとする生徒。 ②規律ある生活態度を身に付け、文武両道を目指して自己調整しながら、粘り強く取り組むとともに、学校生活のあらゆる場面に、自ら参加しようとする意欲を持つ生徒。 ③地域から世界への視点をもち、国際社会においてリーダーとしての活躍を目指す生徒。

(2) スクール・ポリシー具現化の柱

- ア 校訓「誠・愛・節」のもと、規律、責任、品位ある生活態度を定着させる。
- イ 知識・技能のほか、学ぶ意欲や自らで課題を見つけ課題を解決できる確かな学力及び情報活用能力を育成する。
- ウ 家庭や地域社会等と連携して「社会に開かれた教育課程」を実現し、社会に貢献できるリーダーとしての資質・能力を育成する。
- エ キャリア教育を推進し、高い志のもと進路を確実に実現する力を育成する。
- オ 安心・安全な教育環境を整備する。
- カ ICT化及び業務改善を推進し、研修の充実により教職員の資質能力・学校組織力の向上を図る。

② 進学状況

ア 進路別合格者数等（現役）

卒業年度	国公立四大	私立四大	短期大学	専門学校	就職
令和3年度	181	1,392	2	15	0
令和4年度	200	1,158	4	9	1
令和5年度	179	1,165	3	11	2
令和6年度	170	1,007	0	10	2
令和7年度	177	989	0	12	2

イ 四年制大学入学者数（現役、人数は 入学者数/合格者数）

令和6年度			令和7年度		
1位	静岡	27/30	1位	静岡	28/28
2位	立命館	15/88	2位	静岡県立	12/13
3位	静岡文化芸術	14/15	3位	立命館	10/78
4位	静岡県立	12/14	4位	静岡文化芸術	9/9
5位	聖隷クリストファー	10/36		聖隷クリストファー	9/34
6位	横浜国立	8/8	6位	横浜国立	8/8
	中京	8/33		名城	8/101
	名城	8/49	8位	名古屋	7/7
9位	東京都立	7/7		浜松医科	7/8
	明治	7/16		信州	7/7
	愛知	7/73		中京	7/45
				常葉	7/56

ウ 令和7年度主な難関大学入学者数（現役、人数は 入学者数/合格者数）

区分	大学名	人数	区分	大学名	人数
国公立	北海道	2/2	私立	慶應義塾	2/3
	東北	1/1		上智	2/3
	神戸	2/2		東京理科	1/7
	千葉	3/3		明治	4/21
	東京都立	5/5		青山学院	2/6
	東京学芸	1/1		立教	3/4
	横浜国立	8/8		中央	1/10
	金沢	4/4		法政	3/11
	名古屋	7/7		同志社	2/24
	広島	4/4		関西	4/15
私立	早稲田	2/2		関西学院	2/24

※ 浜松市立高等学校『令和8年度 進路資料』より

③ 部活動の状況

- ・ 令和7年度まで 1～2年生は全員加入、3年生は任意
- ・ 令和8年度から 全学年任意加入に変更（未加入者30人程度）
- ・ 大会を持つほとんどの部活で県大会出場以上の実績
- ・ 全国大会出場は、例年(延べ)250人以上にのぼる
- ・ 部活動裁量枠だけでなく一般入試での入学生の全国大会出場も多い。

【参考】浜松市立高等学校部活動全国大会出場者の数

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全国大会出場延べ人数 (人)	265	332	250	269
全国大会出場団体数 (部活数)	10	9	9	11

【参考】令和7年度全国大会出場部活動

水泳・陸上競技・女子テニス・男子テニス・なぎなた・合唱
吹奏楽・マンドリン・文化創生（文芸）・放送・書道

※部活動以外の個人的活動

- ・ 令和4年度国際声楽コンクール
- ・ 令和7年度マイナビ キャリア甲子園

④ 浜市総合講座

- ・ 浜松市立高等学校での「総合的な探究の時間」の名称。浜松市唯一の市立高等学校の強みを生かしたプログラムである。
- ・ 特に「政策提言」は、地域社会との関わりから自ら課題を設定しその課題を解決するための研究・協働・提言する探究活動で、従来の教科学習や進路の実現にも影響をもたらしている。
- ・ 1年次は生徒各々が地域について研究・発表することを目的にプレ政策提言を実施し、2年次にはより具体的な取組みを実施する。
- ・ 令和7年度からは市役所と連携し、各課の職員が講師となり、業務概要の説明や生徒の提言の中間発表時のアドバイス、最終発表時の講評を行った。

【参考】浜市総合講座・浜市ふるさと講座・高大連携事業等の主な内容

学年	取組みの種類	具体的な内容
1年	自分の特徴や学問・職業について知る	・ 「ジョブエクスポ」への参加 (浜松商工会議所主催の高校生対象の企業説明会) ・ 職業研究会 (地元企業で働く方を複数招いての講話) ・ 浜松ふるさと講座 (地元出身芸術家を招いての講座) ・ プレ政策提言 (テーマ自由の政策提言)
2年	自分の進むべき進路に向かって具体的に知る	・ 大学模擬授業 (県内4国公立大学を中心に実施) ・ 政策提言 (市役所と提携し市の政策を提言)
その他	・ 浜松市長講話 ・ 防災講話(市危機管理室)	

(3) 近年の入試倍率と入試の現状

- ・ 定員を400人から360人へと変更した令和5年度以降、入試倍率は低下傾向が継続
 - ・ 令和8年度入試では倍率が1.16倍に下落し、受験者はおよそ50人減少
- 要 因：私学無償化、近隣県立学校での改革
- 傾 向：入試倍率は下がっているものの、模試や進学実績等は向上している

【参考】浜松市立高等学校の受験倍率の推移

	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
受験者数(人)	488	477	465	417
受験倍率	1.36	1.33	1.29	1.16

(定員360名)

(4) 浜松市立高等学校の魅力化に向けた生徒アンケート集計結果

《アンケート概要》

- ア 調査期間：令和8年6月5日～6月12日
 イ 調査方法：オンライン（Google フォーム）
 ウ 対 象：浜松市立高等学校1年生、2～3年生、保護者
 エ 回 答 数：1年生344人、2～3年生528人、保護者571人

① 高校生活で頑張りたいこと・期待すること

【1年生】あなたが高校生活で特に頑張りたいことを（3つまで）教えてください。 (n=344)

選択肢	回答数	割合
勉強で希望の進路を実現したい	252	73.3%
勉強と、部活動などの校内の活動を両立させたい	183	53.2%
学校行事を楽しみたい	173	50.3%
部活動で結果を残したい	116	33.7%
同じ価値観を持つ友人を作りたい	102	29.7%
課題発見・情報処理・表現力などのスキルを磨きたい	38	11.0%
規則正しい生活習慣・倫理観を養いたい	38	11.0%
探究活動に積極的に参加し、好きなことを追求したい	20	5.8%
留学などに参加して、国際感覚・語学力を身に付けたい	15	4.4%
勉強と、習い事などの校外の活動を両立させたい	12	3.5%
生徒会や学校行事の中心として活躍したい	10	2.9%
大学や企業の研究所が開催する公開講座に積極的に参加したい	8	2.3%

【保護者】お子さんの高校生活において、保護者として「特に期待していること」は何ですか。3つまで選んでください。 (n=571)

選択肢	回答数	割合
毎日楽しく充実した学校生活を送り、一生の友人を作ること	318	55.7%
希望する進路（志望大学など）への合格を実現すること	310	54.3%
勉強と、部活動（または校外活動）をバランスよく両立させること	281	49.2%
授業や日々の学習にしっかり取り組み、確かな学力を身につけること	266	46.6%
自分で課題を見つけ、自分の言葉で表現する力（考える力）を磨くこと	136	23.8%
部活動や学校行事などに、全力で熱中して打ち込むこと	121	21.2%
探究活動などを通じて、自分の将来の目標（やりたいこと）を見つけること	119	20.8%
社会に出ても恥ずかしくないルールやマナー（倫理観）を身につけること	103	18.0%

② 入学理由

【1年生】あなたが市立高校に入学を決めた理由を（3つまで）教えてください。（n=344）

選択肢	回答数	割合
学力が自分に合っていた	192	55.8%
学校の雰囲気・校風・伝統に惹かれた	132	38.4%
取り組みたい部活動がある	131	38.1%
進路実績（大学合格実績など）が魅力的だった	122	35.5%
将来の夢の実現につながる可能性を感じた	84	24.4%
一日体験入学や学校訪問での印象が良かった	68	19.8%
家族（親・兄弟）や先生（中学・塾）に勧められた	66	19.2%
通学に便利だった	56	16.3%
制服が魅力的だった	55	16.0%
知り合いや先輩が通っている	41	11.9%
補習や個別指導など、手厚い指導に期待した	8	2.3%

【2～3年生】あなたが思う、浜松市立高校の「良いところ（強み）」を【3つまで】教えてください。（n=528）

選択肢	回答数	割合
生徒同士の仲が良く、お互いを尊重し合える温かい雰囲気がある	178	33.7%
部活動が活発で、仲間と共に高い目標に向かって熱心に取り組める環境がある	142	26.9%
学校行事（自治祭や体育大会など）が盛り上がり、生徒が主体的に楽しんでいる	106	20.1%
校舎が清潔に保たれており、日々の学校生活を気持ちよく過ごさせている	33	6.3%
進路指導や受験（テスト）対策、面談などのサポートが充実している	17	3.2%
日々の授業や課題、小テストなどの学習習慣を支える仕組みが整っている	14	2.7%
先生方が親しみやすく、学習や進路、悩み事の相談に親身に乘ってくれる	11	2.1%
図書室やICT環境（Wi-Fiなど）が整備されており、学習に役立っている	9	1.7%
特になし	18	3.4%

【2～3年生】あなたが「これからの時代にも、次の後輩たちへ引き継いでいてもらいたい」と心から思う本校の良さや伝統は何ですか。【3つまで】教えてください。（n=528）

選択肢	回答数	割合
部活動へ積極的に参加し、心身を鍛え上げる文化	243	46.0%
生徒会活動や学校行事などにおける、生徒主体の自律的な運営	212	40.2%
あいさつなど、ルールやマナーを重んじる姿勢	193	36.6%
「校門一礼」など、感謝と敬意を形にする美しい習慣	147	27.8%
「誠・愛・節」の校訓に込められた、誠実で豊かな心を育む教育	141	26.7%
「規律ある進学校」として、高い目標に向かって互いに切磋琢磨する校風	139	26.3%
その他（自由記述）	2	0.4%
特になし	51	9.7%

3 現状から見える課題

(1) 社会情勢を踏まえた生徒確保や質の維持

- ・少子化や私立高等学校無償化が進む中、本市唯一の市立高等学校としての強みや独自性を打ち出し、優秀な生徒を確保していかなければならない。

(2) 地域社会の要請と生徒や保護者のニーズを踏まえた在り方の検討

- ・市立高等学校の在り方を検討していくにあたっては、地域社会・地域経済の視点と生徒・保護者の視点の両方を踏まえることが重要となる。

(3) 国や県の動向を踏まえた対応

- ・国の2040年に向けた高校改革の方向性や新しい学校のイメージ、県西遠地区公立学校のグランドデザインに示された目指す人物像・学校像、県の高校教育改革の方向性などを踏まえて検討を進める必要がある。

(4) 教育環境の向上と老朽化対策の一体的な施設整備

- ・施設の老朽化対策とともに、新しい時代の学びへの対応や学校の魅力化・特色化、目指す教育の実現に向けた施設整備を一体的に進めていく必要がある。

4 協議の論点

(1) 【協議1】浜松市立高等学校の存在意義について

- ・県立や私立にはない、「浜松市立高等学校」の強みや独自の価値とは
- ・「浜松市立高等学校」が担うべき役割とは

(2) 【協議2】これからの浜松市立高等学校が目指す姿について

- ・「浜松市立高等学校」としてどのような人物を育成するか（目指す人物像）
- ・目指す人物像を実現するために、どのような学校であるべきか（目指す学校像）

浜松市立高等学校の在り方検討委員会の進め方

追加資料

【協議 1】 浜松市立高等学校の存在意義について

- ・ 県立や私立にはない、「浜松市立高等学校」の強みや独自の価値とは
- ・ 「浜松市立高等学校」が担うべき役割とは

これらをふまえて

【協議 2】 これからの浜松市立高等学校が目指す姿について

【育成する人間像】

【目指す学校像】

具現化するために

【学びのあり方・特色】

【教育基盤の整備】

【市・大学・産業界等との連携】